

第4回麻生区区民会議

1 開催日時 平成21年3月17日(金)午後3時1分～午後5時7分

2 開催場所 麻生区役所第1会議室

3 出席者 [委員]

天野委員、伊藤委員、碓井委員、梶委員、神本委員、下八川委員、菅原委員、谷川委員、西谷委員、根占委員、守田委員、矢野委員、山崎委員、渡邊委員

(欠席)飯塚委員、市川委員、尾中委員、鴨志田委員、小坊委員、寺川委員

[参与]

尾作参与、勝又参与、花輪参与、山口参与、山崎参与

(欠席)雨笠参与、伊藤参与、相原参与、吉田参与

[事務局]

太田区長、栗原副区長、荻原企画課長、宮田企画課主査

4 次第 (1) 開会

(2) 議事

1 区民会議出前フォーラムについて

2 調査審議課題について

ア 地域交流部会の検討経過報告及び意見交換について

イ 環境部会の検討経過報告及び意見交換について

(3) その他

(4) 閉会

【配布資料一覧】

「次第」

資料1 麻生区区民会議「出前フォーラム」について

資料2 地域交流部会における取組経過などについて

資料3 環境部会における取組経過などについて

資料4 麻生区協働推進事業について

資料5 7区区民会議交流会について

資料6 あさお福祉計画推進会議について

第4回麻生区区民会議

日 時 平成21年3月17日(火)
午後3時から
場 所 麻生区役所第1会議室

午後3時01分開会

1 開 会

西谷委員長 皆様、こんにちは。ただいまより第4回麻生区区民会議を開会させていただきます。

きょうはとても暖かい日で、4月の陽気だそうですが、福岡では桜が咲いたとか、これは喜んでいいのかどうかというところですが、地球温暖化が進んで、どちらかといったら都市部が早く桜が咲くといったような異常現象があるようです。桜のつぼみも大分ふくらんできていますので、お花見も早くできるのではないかと考えております。

きょうは第4回ですので、早いもので、1回目から数えて半分近く過ぎになってくるといところです。2月の末から3月にかけて出前フォーラムをいたしまして、本当に皆様にご協力いただきまして、ありがとうございました。後ほどフォーラムについての検討はさせていただきますが、参加された方々からは大変好評でした。やはりここでいつも会議をするだけでなく、地域に出ていくということ、それから、皆さんと一緒に話をするということがいかに大切かということを知られたような気がいたします。ただ、課題はまだまだたくさん残ったと思いますので、その課題について皆様と一緒に今後考えていきたいと思っております。

2 議 事

西谷委員長 それでは、議事に入ります。

その前に配付資料の確認をさせていただきますので、事務局からお願いいたします。

(事務局から資料の説明)

西谷委員長 資料は全部そろっていますでしょうか。足りない方がございましたら、よろしいですね。

(1) 区民会議出前フォーラムについて

西谷委員長 それでは、議事(1)の区民会議出前フォーラムについてに入りたいと思い

ます。

出前フォーラムの概要につきましては、フォーラムの実行委員長であります私のほうからご報告させていただきます。

資料1をごらんいただきたいと思います。3カ所で行いまして、1枚目、表が市北部リハビリテーションセンターで2月21日に行いましたフォーラムの参加者、意見交換会の内容です。皆様から書いていただいたものです。後でまとめたのでこの中身については触れたいと思います。

その1枚目の裏が柿生連絡所で行いました2月28日のフォーラムの結果概要です。ここで出た意見がここに書いてあります。

それから、2枚目の表が、はるひ野黒川地域交流センターで3月1日に行いました分です。ここも意見交換会のものが書いてあります。

この意見についてはまとめたところで触れていきたいと思いますので、1つ1つのところでは省略させていただきたいと思います。

次、アンケートの集計結果です。この出前フォーラムをどういうところで知ったかということなのですが、知人、市政だよりというのがほとんどを占めます。あと、区民会議ニュース、チラシ、その他というので、口コミで誘いを受けたからということだと思いますが、このような形で皆さんに来ていただいたということです。

その次の心が響きあう地域づくりについて理解できましたかどうかということについては、まあまあ皆様、書いてくださった方は、ほぼ理解してくださったということだと思います。ただ、2人ほどはやはり理解できないという方もいらっしゃったようです。

あと、進めていると思いますかというところはちょっと割愛させていただきます。

それから、地域活動にどんな取り組みに関心がありますかということでは、時節柄、環境問題に関心が深く、高齢者とか、子育てだとか、防犯、防災といったところがやはり皆様の地域活動の中では関心があることと思います。

それから、区民会議については後ろにありますので、ほとんどの方、1人以外は皆様麻生区に在住していらっしゃる方で、年齢は60代から70代という方が大半を占めるといった方ですが、やはり30代、40代の方も来ていただけていたということは非常に頼もしく、それから、希望が持てたということです。男女の比率は、いつも男性のほうがここではちょっと多いのですね。

その裏面を見ますと、うまくいっていること、困っていること、それから、区民会議や本日の運営についてということが書いてありますが、これは最後のフォーラムの主な意見というところでまとめてありますので、こちらでお話をさせていただきたいと思います。

麻生区民会議「出前フォーラム」意見交換会での主な意見というところをお開きい

ただきたいと思います。これを2つに分けました。専門部会に関する意見と、区民会議のあり方に関する意見、それから、3つ目がその他ですね。という3つのくりにしてまとめました。

まず、地域交流部会に関することでは、芸術祭の参加について、子どもとか高齢者がいるので、無料で駐車できる場所の確保をしてもらえないだろうかということとか、それから、子どもにもっと何かイベントをとということで、広場に模造紙などを敷いて、それに絵をかかせるなどというようなことをやってもらえたらいいけれどもというような企画に関する希望と、その2つが出ていました。

1点目の無料駐車場の件は、フォーラムの実行委員会で話し合いました結果、無料駐車場というのは新百合では難しいのではないかとということで、これはペンディングということになりました。子どもの絵のことなのですが、子どもに自由に絵をかかせるという企画、これはとてもいい企画だと思うのですが、ことしは、ここにも書いてありますように、芸術祭の雰囲気づくりとして絵画の展示、清掃活動を行うということになっておりますので、来年度以降、もし芸術祭が行われるならば検討していてもいいのではないかとということで、意見として取り入れて、今後につなげていこうということで、ことしには間に合わないの、一応保留という形になるかと思えます。

それから、環境部会に対するものでは、環境問題について区民会議が取り組むことについては非常に好意を持って皆様に見ていただいています。ここでもありますように、生ごみの堆肥化、農家との連携などには期待をすとか、もっと横断的な連携を望むとか、それから、エコの取り組みとして、照明を白熱灯から蛍光灯、LED灯に変換することを奨励してほしいとか、それから、レジ袋の削減というのはなかなか難しいので、エコグッズのコンペをしたり、商品化してはどうかというようなご意見がありました。それから、非常におもしろかったのは、エコ活動をしている店舗に何かマーク、いわゆるミシュランの星マークのような星をつけてはどうだろうかというような提案がございました。

これらについては、環境部会の中で少し検討していただいて、それで取り上げるもの、今後につなげていくもの、それから、これはちょっと今できないものという形でやってみたらどうでしょうかということになりました。

照明器具については、取り組み事例を調べてPRするということを行ってみたいかどうかということです。

それから、2番目の区民会議のあり方に関する意見ですが、ここに幾つか出ています。ただ、配付資料の第2期への引き継ぎの部分の説明が欠けていたということはこちらの手落ちでしたので、今後はそういうことのないようにしたいと思っております。

それから、第2期の区民会議では、調査審議のほか、他の担い手と連携して実践活

動をする中で、目に見える成果を出すようにしているというまとめをしましたが、この中では実践活動をするということに対する好感を持たれたものと、それから、区民会議は実践部隊ではないのではないかとというようなことだとか、いろいろな意見が出ました。ただ、地域に密着した取り組みをしてもらいたいということで、出て行ったことについては非常に好感を持たれたということがありました。

1つ、第1期での高齢者の課題について何ら進展していないので、これはどうなっているのかというご質問も受けました。これについては、健康福祉局のほうに、どういふふうになっているか確認をとろうということにしております。一応全部健康福祉局とか、社会福祉協議会とかには意見は上げてはありますが、その後、確認をされていませんので、この点は確認が必要であるだろうということになっています。

それから、次のページに行っていただきたいのですが、これでは区長への提言ということで、どのタイミングですのかというようなことの質問がありましたので、これは第2期の終わりに調査審議の結果をまとめて区長に提言しているということで回答したいと思っております。

それから、参与の発言ということがあったんですが、麻生区では必ず最後に参与の方々に発言をしていただいていますので、これはちょっと認識が違うのではないかと思います。

それから、もっと区民会議に参加してもらう、区民会議のフォーラムなんかに参加してもらう、その参加促進を図る方法として、何か買い物ツアーだとか、買い物ツアーというのは、単なる買い物ツアーではなくて、農との関係のセレサモス等の場所もよくわかっていないという方もあるので、そういう方々に地産地消の問題だとか、それから、環境エコとの問題で、地元のものを使っていただくということから、買い物ツアーというわけではないのですが、そういうのを紹介しながらこういうフォーラムみたいな話し合いをしてもらったらいいのではないかとというようなご意見がありました。これはイベント開催ですね、それも今後検討していく必要があるのかということです。

それから、ホームページの議事録に要約が欲しいというのが出ていましたので、これは今後企画課のほうで検討していただくということになっております。

それから、団体推薦枠は任命権も含めてという、この件なんですが、出席していない委員がいて、途中交代してもらったほうがよかったのではないかとということが出ましたが、第2期の区民会議では、理由がなく会議に参加しない委員はいないということなので、これははっきり申し上げることができると思います。

それから、その他、意見、要望ということで、地域力というのが問題になりましたね。いろいろと地域によって差が出てくるということで、区民会議が地域力を向上するのに寄与するような取り組みをしてほしいということが出ました。これは地域で取

り組む防犯パトロール活動とか、それを援助するベストとか、腕章とかを配布するような支援をしながら、何とか地域が活性化するような側面からのお手伝いはしています。ただ、なかなか地域を起こしていくことは難しいとは思いますが、できるだけ地域にもこちらからも出向いていくことはやぶさかでないということはお話はしました。

それから、あと、議員と意見交換する機会をとというのは、区民会議としてでなくて、市民団体が議員と語る会を開催しているので、区民会議はこれにかかわるといのは、そういうケースがあるので、まだ様子を見ていきたいと思っているということです。

それから、黒川のほうでは、特に緑を守るということが言われるけれども、地元の負担が少なくなる助成制度など検討してほしいとかという問題も出ましたし、黒川、はるひ野に、多分ハイキング等に訪れる方だと思っておりますが、ごみのポイ捨てをする人が多いとかというようなことが出ましたが、これは地域の力で何とか解決していただきたいと思っております。各地域ともごみの問題というのは、公園等を地域の中に持っておられる地域では、同じことが言われると思っておりますので、このあたりはごみ問題ということについては、区民会議で検討はしていますが、これを規制したり、何か活動するということは地域で行っていただきたいということを思っております。

それから、老人いこいの家の問題なんかもここには出てきましたし、災害時の高齢者、障害者の対応ということも出ていましたが、これは町会で今取り組んでいるので、区民会議は特に関与することはなくていいということです。

それから、高齢者施設から出るいろいろな生ごみをリサイクルをやってもらえないかという希望も出ましたが、これは環境局のほうへ情報提供するというところでお話をしておきました。

このような意見が出前フォーラムでも出ました。そのほかにも各委員、出前フォーラムには参加していただきましたので、いろいろご意見があると思います。ぜひご意見、ご発言をいただきたいと思っております。

出前フォーラムについていかがですか。中には、せっかくいい企画なのに、参加人数が少なかったということで、残念だと言ってくださった方もいらっしゃいました。特に1回目はわりかた多かったのですね。来場者が24人ということで、非常ににぎやかで活発に意見交換ができました。ただ、次の土日の28日と1日のほうは、他の団体の行事と重なっていたために出られない方が多かったということで、それで、出たくても出られない条件というのがあったので、日程の設定を来年からもう少し考慮する必要はあるかと思っております。ですが、参加してくださった方は、とてもよかったということで、特に皆さんご発言ができるというような環境が整いましたので、それではよかったと思っております。参加できなかったこととか、この中の意見のことで何

かございませんでしょうか。

守田委員 区民会議のほうから積極的に地域に出向いていくというのは、本当によかったと思っております。皆様から大変評価していただけたと思っております。それで、西谷委員長からも、これから出前ということは積極的にやっていきたいから、必要があればどんどん要望を出してくださいという呼びかけもしていただきましたが、実際に積極的に呼びかけをしてくださるところまではなかなか行かないのではないかと思いますので、むしろこちらから、団体推薦でいらっしゃっている方がたくさんいらっしゃいますから、私もある組織に入っていると、そういうところに呼びかけていって、区民会議の勉強会のようなことをやりませんかというような、それから、要望が何かあったらそこで話し合う場をつくりませんかという形で、委員みずからその辺を呼びかけていくと、少し反応が出てくるのではないかなというふうに思っております。

西谷委員長 ありがとうございます。確かに、どうぞ、いつでもこちらから出向きますよとは申し上げたのですが、区民会議のことを話に来てください、ちょっと勉強会をしたいのですけれどもという申し出は各団体ともなかなかやりにくいだろうと思えます。ですから、委員の皆様が所属しているサークルでも団体でも、どんな小さな2、3人でも構いません、そういうところにぜひ区民会議のことについて話をしてほしいということであれば、私は時間があればいつでも出ていきますし、そういう機会を委員の皆様がつくっていただく。それによって積極的に区民会議が出ていけるということになりますので、そういう機会をふやしてみてもどうでしょうかということが守田委員からのご提案です。そんなことについても含めていかがでしょうか。

渡邊委員 きょうは町会連合会の飯塚会長は、別のあれで来ていないかと思うので、私も町会のほうをやっている関係上、各町会自治会というのは、少なくとも月1回、役員会なり何なり集まりを持ったりしていますね。総会となると年1回でしょうけれども。ですから、そういう月々何かやっているところで、町会自治会の役員さんにこの区民会議についてもうちょっと意識を持ってもらおうといえますか、そんな面で、町連としてそういうことはできるから、ぜひ自分のところでそういう希望があれば申し出てほしいというようなことを今度の理事会あたりで私が話そうかなと感じましたので、そんな動きもしてみる必要がいかないかなと思いました。

西谷委員長 ありがとうございます。町会が一番組織率が高いところなので、町会に働きかけていただくと非常にいいと思いますが、皆様が所属される町会あたりで、ぜひ積極的に言っていただけると、だれか出ていってもいいですし、それから、皆様方自身のご説明くださってもいいですし、それはどういう形でもいいかと思えます。何とか区民会議の知名度を上げていかないと、先ほど出前フォーラムを何で知ったかというところを見ても、やっぱり回答が少ないのでね。ご意見としてももっとPRしたほ

うがいいのではないかと。でも、随分PRしているつもりなんですね。それは幾らPRしても、区民会議ニュースも全部回覧はしているんですが、あれを回覧してくれたらよかったというような意見もあったんです。ですから、回覧されても、ほかの資料の中に入ってしまって、気がつかれないということがあるのですね。そのところを関心を持っていただくと、あっ、区民会議ニュースだと思ってくださる。そこまでをこちらが意識づけることをやっていかないといけないのではないかと考えています。結構市政だよりの区民会議は見ているみたいなのですね。ですけど、区民会議ニュースは余り見られていなかったりして。だから、区民会議とは何かがわからないのですね。区民会議があることはわかっているけど、内容がわからないとか、何をしてくれるところなのかなとか、そんなふうに思っているような感じがしました。皆さん、いかがでしょうか。

伊藤委員 私も21日と3月1日、参加させていただいたんですが、皆さんのところに行ってお話してきたと。少ないながらも顔を見て、地域の人たちと会話ができたという点では、先ほど守田委員がおっしゃったように、非常によかったなと思っております。ただ、この中でいろいろな方がいろいろな意見をおっしゃっているわけです。いろいろな問題点をおっしゃっているわけですが、じゃ、区民会議としてそれをどうとらえ、まとめ、そして、返していくのかというのについては、非常に難しいなということなのですね。区民会議でテーマを決めているいろいろやってきているわけですが、それ以外にもいろいろ意見が出される。これは区民会議というのは行政の一環なのかどうか、私はよくわからないのですけれども、そういった点で、どう対応していいか難しいなというように私は思っているのですね。やはりいろいろな意見が出るというのは、行政、あるいは区民会議に対して期待するところが多いのではないかと。多いのだけれども、また、そういうことを言うところが場所がないのではないかと。たまたま区民会議が地域に出て行って、そして、皆さんの意見を聞く。そういう場がないために、いろいろな課題が出されて、それをどう処理していいかというのが非常に悩ましいものだなというふうに思っておりまして、やはりこれらは積極的に出ていくということが非常に大事なわけですが、いろいろな意見を今後どう整理していったらいいのかということところがやっぱり研究課題なのかなと、来年に、あるいは次期につなげるためにも、その辺の整理が必要ではないかなというふうに、悩みながらも思っているところです。

西谷委員長 ありがとうございます。本当にいろいろな意見、細かく拾うとたくさんの意見が出されまして、多少期待をされながら、意見を言ってくださるということについて、私たちも責任があるだろうと考えています。ですから、それをもう少し整理して、区民会議としてどう取り上げていくか、検討し、解決していくかということが、今後こういうフォーラムを行うと、その後に残された課題としては出てくると思いま

すので、私は先ほどいろいろお答えしましたけれども、それにまだ漏れていること、それから、これではやはり回答にはならないということとかがありますので、もう少し検討させていただかないといけないかと思っております。

区長 大変いろいろなご意見があっというなと思えました。要するに、今お話に上がったように、いろいろな意見があっというな立場があっというな、いいんだらうと思っというないます。それは当然のこと、それぞれの立場によってどんな町にしたいかとか、どんなことをやってほしいかが違っというな当たり前なわけ、要するに議論の取っかかりとして非常にいいのではないかと思っというないます。

例えば無料で駐車できる場所の確保はできないかというのがありますね。ところが、区役所の駐車場も5月から有料化になるのですね。これはいろいろと議会のほうでもお話しされていますが、要するに無料だというのは税金で賄っというなっているということですね。払わないというだけで、役所のサービスも何もみんな税金で賄っというなっているわけですから、無料、ただのものというのはないです。我々も給料をもらっというなっていますから。ということなんだというこの議論が始まればいいのかなというふうに思っというないますし、例えばLED灯の話でも、町内会の防犯灯だっというな、町内会が10分の1出っというなしているのですね。商店街灯も出っというなしているのですね。ただというな、税金で払っというなっているのは公園灯と道路灯だけです。ほかのものは、例えば町内会に入っというなっていない方たちはフリーライダーですね。町内会費を払わないで電灯。だから、設置するのでもLED灯になれば、それは設置費の10分の1は町内会さんに持っというなってもらっというなうということになるんだというなことが、話が始まればいいなというふうに思っというないます。

地域力の話で言えば、この会議、1期目にそのような話がありましたので、今、説明もさせていただきますが、町内会と自治会に麻生区としてアンケート調査と聞き取り調査をやっています。ヒアリングをやっています。その中で、地域力が増っというなような活動をやっというなっているところを紹介して、よくある町内会の活動だけではなくて、こういっというなうふうにやっというなたらいかかというのをまとめて、来年までにつくっというなって、各町内会さんに配ろうというのを1つやっていますし、それから、町内会に対する補助助成ではなくて、町内会の事業に対する助成制度というのをつくりました。ことし、時期が非常に詰まっというなっていましたので、余り応募はなかったのですが、ただその中で相談が何件かあっというなって、実際に助成の対象になったのは有楽自治会さんに助成をさせっというないただいた。それは裁判員制度をもとに有楽の町内会で話し合っというなうというのに助成させっというないただいた。この制度をつくりまっというなしたし、来年はもう少し大きくさまざまところからコミュニティの力を増っというなすような事業をやっというなりたいということについては、そういう助成制度を麻生区として設けまっというなしたので、これについてもやる。

さらに、これは飯塚会長なんかとお話ししまっというなして、今、区民まつりの中で、まちづくりに貢献されてっというないる方たちの顕彰制度をつくりまっというなした。4方ですけれども、例えば

栗木の道路、歩道部分を無償で提供していただいている方、飯草さんという方なのですが、このところに表彰させていただきまし、古沢の鈴木晃平さんは田んぼを貸していただいているというので表彰させていただきまし、黒川の立川さんですか、写真を撮っていただいている。という方たちも表彰させていただきました。ですから、区民会議で、1期目に提言させていただいたもので、どういうやり方ができるか。具体的に、アイデアをそのまま物にするというのはなかなか難しいですが、こういうことが望まれているのだなということでありました。私どももプロですから、それをやれる方法で事業化することはできると思います。ということで、取っかかりとしては非常によろしいのではないかと考えています。

西谷委員長 ありがとうございます。確かに意見をどう事業化していくかということが、やはり今後の課題だと思います。この点がまだ抜けていたということはいかがでしょうか。このフォーラムで出た意見の中で落ちていること、それから、ちょっとこれについてはというご意見がありましたら。

伊藤委員 区長に聞いていいかどうかわからないんですけども、その他のところの一番下に、高齢者施設から出る生ごみをリサイクルできないかという話なのですね。高齢者施設だけではなくて、要は障害者のいろいろな施設がありますね。福祉施設。そこですと、何かごみを出すと事業系ごみということで有料化されてしまう。今、そういった福祉施設というのは財政的に非常に厳しい。それをこういう生ごみだけではなくて、そういったことを無料で回収してもらおうということは、その施設に対する支援になるだろうということなのですね。どのぐらいの支援になるか知りませんよ。だけれども、そういうことをできないものだろうかというご意見なのですね。ここは生ごみのリサイクルだけではなくて、いろいろ聞いてみますと、そういうことだったので、ですから、非常に温かい支援ができるのかなということで、聞いてみないと、そういう方々の声というのはわからないものですから、その辺のところ、幾らか、そういう福祉関係のところ支援ができるものであれば、取り上げていただきたいなと個人的には思っているのですが、これは区長に聞いていいかどうかわからないので、その辺の状況がありますということだけ報告しておきたいと思います。

区長 リサイクルはリサイクルですから、最後に使うところがなければできないですね。環境部会さん、ご存じのように、生ごみを肥料化するところを今やっていますよね。東京農大さんとやっていて、あそこが今いっぱい状態です。山崎さんは山崎さんでやっていますね。要するにそういうものをやりながら、どこまでできるのかというのを検討することが必要だと思うのですよ。気分ではリサイクルというのはいいですがけれども、実行力が伴わなければいけないので、どれくらい最終的に、「みどりくん」は古沢の井上さんのところで使っていただけるということまで話は行ったと。実際にそういうことをやりながら、どこまで拡大できるのかというのを、それこそ、区民会議

の皆さんたちが見きわめながらやっていくのが大事だなと私は思います。大がかりにやろうというのはなかなか難しいかもしれないですね。リサイクルが余り進まないのはそのせいかもしれないです。

西谷委員長 今度、環境部会のほうで少し検討していただいて、また本会議のほうに上げていただくということにしたいと思います。

それでは、時間が経過しましたので、きょうこのフォーラムに出ましたご意見も踏まえまして、区民会議の意見として考えをまとめさせていただきたいと思っております。

(2) 調査審議課題について

ア 地域交流部会の検討経過報告及び意見交換について

西谷委員長 それでは、(2) 調査審議課題について、ア 地域交流部会の検討経過報告について、根占部会長からご報告をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

根占委員 それでは、地域交流部会の審議検討経過の概要についてお話しいたします。

1月15日に第3回、2月25日に第4回地域交流会を開催いたしました。第3回部会では、区民参加の芸術祭の取り組みである小学生の描いた絵画の展示、新百合ヶ丘周辺の清掃活動のたたき台について検討いたしました。第4回部会では、第3回部会での意見を反映した、小学生の描いた絵画の展示、新百合ヶ丘駅周辺の美化清掃活動の企画案について確認をし、絵画展示に伴うラミネートコーティング作業などについて、部会委員と事務局で行うことといたしました。また、区民参加の芸術祭について、ある程度のめどがたってきましたので、次に取り組む課題である市民利用施設等についても検討いたしました。以上が今までの審議の概要でございます。

資料2の問題解決のため調査検討シートをごらんください。まず、1ページ目の問題解決のための調査検・討シートの2つの取り組み課題の絞り込みをごらんください。地域交流部会では、多様な提案課題の中から絞り込みを行いまして、これらの取り組み活動と、これまでに取り組んだ活動事例、それから、協働推進事業として展開中の事業を記載しております。これから取り組む活動として、「川崎・しんゆり芸術祭」の開催に合わせ、小学生の描いた絵画の展示、新百合ヶ丘駅周辺の美化清掃活動を考えます。また、既に取り組んだ事例としましては、「しんゆり・芸術のまちフォーラム」と連携して、エコバッグを通じた学生と幼児との交流事業、また、新百合ヶ丘駅南口ペDESTリアンデッキ上のオブジェの囲いの改修を紹介しております。

それから、第1期区民会議の提案を事業化した、「あいさつが交し合える地域づくり事業」について実施状況を記載しております。

また、真ん中の点線で囲んでおります部分については、市民用施設にかかわる取り

組みについては、次回4月の地域交流部会において、部会委員の皆さんのアイデアを出し合って検討することとしております。何かいいアイデアがありましたら、この場でお聞かせ願っても結構でございます。

1枚めくっていただきますと、エコバックを通じた異世代交流の取り組み事例の概要紹介があります。これについて、非常に協力していただいた専修大学の前川ゼミのインターネット上に。ちょっと読みます。「こんにちは！ 前川ゼミです。私たちは2008年11月に麻生区の7つの保育園に行ってきました。当ゼミでは麻生区区民会議の方と協力し、新百合ヶ丘＝芸術のまちのPR、異世代交流、身近なエコ活動を含めた住民参加型の地域活性化運動のひとつとして園児と一緒にエコバッグづくりに取り組みました」とホームページに載っているそうです。ご紹介しておきます。

右側には、これから取り組みます小学生の描いた絵画の展示、新百合ヶ丘駅周辺の美化清掃活動について概要が記されております。

このエコバックを通じた異世代間交流については、第3回区民会議にて紹介しておりますが、オリジナルエコバックの作成を通じ、地域交流、異世代間交流を図ることができ、非常にいい取り組み事例であったと思います。これから今後この活動をもう少し活発にといいますか、広げていくためには、やまゆりがちょうど2年を過ぎまして、今度3年目に入りますが、ここで子どもたちのサークル活動の代表者を集めまして、そこで前川先生にも来ていただきまして、エコバックの作成をやるということも、隣に座っております守田さんが企画してくれましてね。ちょっと説明してください。

守田委員 このイベントは、子どもの活動を目的とした市民活動団体に集まっていたいで、日常の活動ですね、そこでご披露していただくということで、例えば古武道であれば練習を見せていただくとか、ラグビー学校もあるのですが、室内でラグビーのボールのやりとりのようなことをやっていただいたりとか、それから、日本舞踊もやっていただくとか、子どもたちのかわいらしさと、生き生きとした元気さを出していただけるイベントとしては、去年初めてやりましたけれども、大変大成功いたしました。この区民会議で前川ゼミのエコバックをつくらうということで、私どもも参加いたしましたけれども、前川先生のご趣旨は、単にエコバックをつくるではなくて、一番の目的は、地域にどうやって交流の場を設けていくかということで、学生さんというのは4年でどんどんかわっていってしまいますので、なかなか定着した活動ができないので、何とかして地域につなげていきたい、そういう考えを伺いましたので、やまゆりがその担い手となるかは別といたしまして、せっかくのいい企画、地域交流の1つのいいテーマだと思っておりますので、それをどうやって地域に根づかせていくかということを模索しながら、今回やりたいと思っております。

根占委員 次に、絵画展示についてご説明します。芸術祭についてはもう既にご承知かと

思いますので、これは省略します。

1枚めくっていただきますと、「川崎・しんゆり芸術祭」の開催に伴う小学生の絵画の展示についての企画があります。簡単に説明しますと、新百合ヶ丘駅周辺に「わたしたちの町～わがまち自慢」をテーマとした小学生の描いた絵画で飾り、町のにぎわいや歓迎ムードを演出して芸術祭の雰囲気づくりをすることを目的にしております。皆さん既にごらんになっていると思いますが、こういうような絵画を17小学校、1校当たり約15枚、合計、学校の解説も入れまして272枚を集める予定です。そのうちの4枚ずつをああいったパネルに張っていくということになると思います。この実施期間は4月20日から5月7日までとしております。実施場所は新百合ヶ丘駅北口側通路の小田急電鉄側のフェンスを考えております。フェンスの長さは約90メートルです。

1枚めくっていただきますと、展示する図があります。さらにめくっていただきますと、展示のイメージ図が載っていると思います。既に区内の17公立小学校から絵画を提出していただきまして、部会委員を中心にラミネートコーティング作業を行いました。この作業は割と順調に行きまして、私が予定した日はもう終わったよということでした。すばらしい作品ばかりで、これらの絵が飾れることで、町が非常に華やぐのではないかと考えております。

また、展示期間中は絵画の損壊等がないよう、委員の皆様が注意を払ってくださるようお願いしております。

絵画を返却する際には、協力いただいたお礼としまして、こういった区民会議の名称が入っております鉛筆を贈呈するということになっております。

次に、新百合ヶ丘駅周辺の美化清掃活動について申し上げます。区民や地域の団体等と連携して、新百合ヶ丘駅周辺の美化清掃活動を行い、クリーンアップすることで、芸術のまちにふさわしい清潔感ある雰囲気づくりを図ることを目的としております。実施時期は4月21日（火曜日）を予定しております。荒天時の予備日として4月22日を予定しています。4月21日は、芸術祭開催の直近のタイミングであること、また、既に活動しているボランティアの方々との連携を念頭に入れまして、美化ボランティアの活動予定日、毎月第1木曜日と第3火曜日であるこの日が最適ではないかと考えています。4月21日ですね。実施場所は、新百合ヶ丘南口ペDESTリアンデッキ上のオブジェの周辺、カマキリの頭をしたオブジェ、それから、水系施設周辺、北口の絵画展示場を中心に活動していきたいと思っています。渡邊さんがやっておられます川崎美化運動実施麻生支部、それから、昭和音楽大学、日本映画学校、「川崎・しんゆり芸術祭」実行委員会、J-COMせたまち等と協力連携を予定しております。なお、皆さんの団体やお知り合いにもお声かけをいただきまして、多くの人に参加していただきたいと思っています。

少しめくっていただきますと、ペDESTリアンデッキのオブジェの囲いが、2枚ほ

ど非常に汚かったのですね。これをいろいろ区民会議のほうで話しまして、話が終わらんうちにきれいになっておったということで、区のほうもこれご努力願ったのではないかというように思っております。

それから、次に、資料2の下のほうに書いてありますが、「あいさつが交わし合える地域づくり事業」について、1枚めくっていただくと書いてありますけれども、この事業は、第1期の区民会議からの提案を受けて、心が響きあう地域づくりの推進のために実施するものです。モデル地区を選定として、実態調査を行って、地域づくりの手引をつくり、先ほど区長のお話もありましたとおり、11月に区内の102の町会自治会を対象としたアンケート調査を実施し、特徴的な活動として町内自治会を対象として3月からヒアリングを行っている。今後はアンケート、ヒアリングの結果に基づきまして、来年2月ごろには手引書を作成される予定でございます。私も町内会会長をやっております、こういうアンケートをもらっております。

以上、交流部会のこれまでの取り組み事例の紹介、検討経過と報告とこれからの取り組みについて報告させていただきました。どうもありがとうございました。

西谷委員長 ありがとうございます。ただいま地域交流部会を代表して、根占委員から、地域交流部会の検討経過についてご報告、ご提案をいただきました。

根占委員 1つ忘れていました。今度、清掃するときに、こういうのをつくりましたので、これを着てやっていただくということでございます。

西谷委員長 区民会議のPRのためにも何かわかるものを着て清掃活動をしたらということで、区役所のほうでつくっていただきました。清掃活動のときには、区役所のほうに集まっていただくということになっておりますので、後ほどまた提案させていただきます。

まず、地域交流部会についてのご意見がございましたらお願いしたいのですが。今まで、保育園児を対象にした専修大学の学生さんと協働してやりましたエコバッグづくり、それから、今回は、芸術祭に向けて小学生の絵画展ということで、この作業も大変ありがとうございました。何人かの方に精力的にやっていただきましたおかげで、全部252枚のラミネートづくりが終わって、それでこのボードに張る作業はまだ残ってしまっていて、今月26日にやる予定であります。また26日の9時からここでやりますので、お手すきの方がありましたらぜひご協力いただきたいと思います。

これを北口に設置いたしますが、先日、これができたとき、どういうぐあいか見たのと、それから、ちょっと写真を撮るということで行きまして、掲げただけで、通る方から、何かなという感じで注目されまして、中にはしげしげとのぞき込んでくださった方もいらっしゃいました。ですから、非常に楽しみにできると思っています。特に芸術祭のときは、トウェンティワンのホールで、ドラえもん展がありますので、それに小学生のお子さんたち、また親御さんたちが通られるので、いいPRにもなるか

と思っております。

各小学校ともこの学期末の非常にお忙しい時間だったのですが、何の苦情もありませんで、快く受けていただいて、その学校によって、学年も指定はしませんでしたので、それぞれいろいろの絵があると思いますけれども、ラミネートしましたら一層くっきりと絵がなって、非常に映えたような気がしました。ちょっと薄いのが光るせいですか、色が鮮やかに見えました。これでどういうふうになるか非常に楽しみでありますので、また、展示されたときには、皆様方にはぜひ足しげく見ていただいて、防犯を兼ねてごらんいただければと思っております。いたずらする人がいると困りますので。

そんなことで、地域交流部会のほうは、企画をしたり、作業をしたりということで、非常に忙しく働きましたが、何とかここまでこぎ着けたところです。このほかにも、地域交流部会でもっとこんなことをどんどん取り上げてくれたらいいのにといいことがありましたら、これで仕事を1つずつやっていって、継続させていくということになりますけれども、ご意見をいただければと思います。いかがでしょうか。

山崎委員 今、美化活動で、4月21日ということ、これは実施はわかっているんですけども、ただ、美化活動のほうで、これはだれも知らないんですよ。というのは、支部長さんがいらっしゃるんで、支部長さんには一応通しておいていただかないといけないと思うんですね。というのは、きょうも終わったわけですよ。そこの広場に全部お花を植えたんですが、それから、今区役所に来る通りにも植えたんですが、そういう作業はボランティアでやっているわけですね。だから、ふだんもそういう活動をしているので、これだけではなくて、そういうときにもいろいろな方が参加してほしいですよ。正直言って。いつも決まった人だけではなくて、こういうときは芸術のまちだからやるということではなくて、そういうときにいろいろな団体が入っていただきたい。せっかくですから、今、根占さんからこういうお話があれば、今後はそういうことをお互いに一緒に協力していただきたいということを1つお願いしたい。

それともう1つ、せっかく麻生区に4大学連携というお話がありながら、全然生かされていない。これもやっぱり区民会議の中でいろいろ検討していただかなければいけないだろうと。4つの大学を麻生区と川崎市と結んでいるわけですから、麻生区には4つあるわけですから、それをうまく利用しなければいけないのではないかと。利用するという言い方はおかしいのですが、学生さんと一緒に協働で何かできる方法、事業をしていただくのだったらそういう方向で考えていただけないかなと、私はそう思っております。

西谷委員長 ありがとうございます。清掃活動については、これは1つのイベントとしてやりますけれども、今後どういうふうな形で続けられるか、地域との交流を連携させていくかということ、いつも同じ人でやっていくのではなくて、もっと拡大できる

と、麻生区がきれいな町に生まれ変わるということ、これも1つの課題になるかと思っています。今後のことについては、それでは、地域交流部会のほうでまたお考えいただくということにしたいと思います。

それとあと、4大学の連携ですが、4大学の連携についてもどのように連携し、それが地域と結びつくかということ、それから、地域づくりにいかに学生さんにご協力いただくかということなどももう少し考えて、何ができるか検討させて、今後の課題にさせていただければと思います。根占さん、いかがでしょうか。

根占委員 今、委員長が言われたように、どのサークルに呼びかけるかは別にして、そういう運動は区民会議の1つのテーマとして広げていきたいと私も思っております。

西谷委員長 ありがとうございます。そのほかにご意見はございませんでしょうか。

それでは、美化清掃活動については、部会を超えて皆様にご協力をいただきたい、ご参加をいただきたいと思っております。参加可能な方はお申し出いただきたいのです。集合日時、場所ですが、4月21日、雨天の場合は22日、火曜と水曜ということになります。9時半に区役所の4階の第5会議室に集合ということになります。参加できそうという方、ちょっと挙手いただけますでしょうか。ありがとうございました。また、きょう参加ということを行いましたけれども、どうしても予定が入ったということだとか、または逆に、きょうはわからないけれども、後ほどということでも構いません。事務局まで参加可能な方はお申し出いただければと思っております。よろしく願いいたします。

地域交流部会の検討経過報告及び提案について、これでご承認いただいてよろしいでしょうか。ご意見はいいですね。じゃ、ご承認いただけますでしょうか。

〔拍手〕

西谷委員長 ありがとうございます。それでは、ご承認いただいたということで確認したいと思います。

イ 環境部会の検討経過報告及び意見交換について

西谷委員長 続きまして、議事の(2)イ 環境部会の検討経過報告について、伊藤部長からご報告をお願いします。よろしく申し上げます。

伊藤委員 それでは、環境部会の取り組みにつきましてご報告をさせていただきます。

お手元の資料3を見ていただきたいのですが、課題解決のための調査・検討シートとなっております。第3回の区民会議の中でも取り組みを報告してきましたので、それ以降の活動状況を報告させていただきます。

環境部会は、ここに課題として、「エコのまちあさおの推進～持続可能な地域社会の創造を目指して」ということをテーマにしまして、身近な地域から地球温暖化対策、あるいは緑化、農も含みますけれども、そういったことを実践しようということ

で課題を上げております。

それで、このA3のシートの右半分ですけれども、いろいろ課題解決のための具体的なアイデアというものを区民の皆さんの意見も含めて議論をしまして、ここに上がったように、上段では、身近な地域から地球温暖化対策を、それから、下段では、やはり身近な地域から緑化活動を実践しようということで、2つの大きな枠組みにしました。上段では、のところですね、レジ袋削減に向けたエコバッグの普及啓発、それから、環境家計簿作成というテーマを絞り込んだということです。下の段の身近な地域から緑化につきましては、の生ごみの堆肥化、地産地消ということ、こういう4つの課題、テーマを上げまして議論してきました。その結果、下段の生ごみの堆肥化と地産地消の推進ということを当面最初にやりましょうということになっております。

第3回の区民会議が12月に行われましたけれども、その後、環境部会としましては、第3回環境部会が1月22日、それから、第4回環境部会が2月23日行いました。この中で、先ほどの具体的なアイデアの右側ですが、取組課題の絞込みということで、生ごみのリサイクル、そして、下に地産地消の取組と書いてございます。

生ごみのリサイクルということにつきましては、地産地消と絡んでおるわけですが、1つ、レストランあさおで出た生ごみを収集して、経堂にあります東京農大さんのリサイクルプラントに運んで、これを肥料にする、「みどりくん」という名前ですけれども、前回、サンプルをお見せしましたが、その「みどりくん」をつくる。そして、その「みどりくん」を麻生区内の農家の方に使っていただいて、野菜を生産するというお話を進めてまいりました。古沢にあります井上さんという農家の方ですけれども、お話に行きまして、引き受けていただいたということです。井上さんのところはかなり土地も畑も持っておりますので、1反、約300坪のあたりに使ってみようということで、実験的に「みどりくん」を使ってやってもらうことになりました。ここでできた野菜をレストランあさおに使っていただくということで、できた野菜をレストランあさおで、昼間のメニューに加えていく。そのメニューもいろいろ相談して開発していこうではないかということになっておりまして、生ごみリサイクル地産地消というのが1つ軌道に乗りつつあるということでもあります。

具体的に環境部会の中の次のページ。今お話ししたのはA3の右側のところ、絵があります。生ごみのリサイクルと地産地消の具体的な取組事例ということで、先ほどご報告しました内容がこういうふうに循環型をしていくということでもあります。

実はここまで来る間に、次のページに取組経過というのを書いてありますけれども、東京農大さんに1月13日、お伺いしまして、後藤先生という方が生ごみリサイクルプラントを開発してやっておるわけですが、後藤先生はちょうど麻生区に住まわれているんですね。この先生にいろいろ「みどりくん」のお話をスライドを通して

聞いてまいりました。前回の区民会議でも、塩分の問題とか、土壌に悪さをするのではないとか、いろいろ疑問が出されましたが、その点につきましても、それぞれ確認をしてきたところでありまして、多少の塩分といいますが、これはかえっていいのだと、1%とか2%、実際、「みどりくん」は2%ぐらいの塩分をしておりますし、成分分析もしておるといふことであります。

東京農大のプラントでできた生ごみは、町会といいますが、あそこの近辺の農家の方4軒が使っているという事です。また、新宿に京王百貨店がありますけれども、この屋上にも同様なプラントをつくりまして、百貨店のレストランがありますけれども、そのものを屋上に運んで、これも生ごみをリサイクルして肥料にしているという事でやっておるようでございます。

その下に農家との打ち合わせということがありますけれども、これは先ほど申しましたように、古沢在住の井上さんと意見交換をしたと。約1反にまこうということなのですが、この肥料は1平米当たり500グラムから800グラムですね、それ以上やるとちょっと強過ぎるといいますが、問題もあるということで、大体500から800グラムを1平米にまく。これは作付前に、4月ごろ作付、キュウリとか、トマトとか、ナスとかをやるわけですがけれども、この2~3週間前にまきまして、ペレット状のものですから、粒になっておりますが、これをまいて耕しておく。それで2~3週間たってから種をまいたり、作付をするということで、その間、2~3週間の間にいろいろガスとかが出るわけですがけれども、それが発酵なり腐敗して出るわけですが、そのアンモニア的なものが障害になっているものをなくすということで、2~3週間作付を待っているという事であります。

次に、レストランあさおとの打ち合わせにつきまして、これは1月22日、2月4日に、事務局が環境局、多摩生活環境事務所も含めまして、レストランあさおとの打ち合わせを行いました。3月4日から生ごみを多摩生活環境事業所で、小学校5校の生ごみと一緒に農大に運んでおります。火曜日から土曜日ということで。レストランあさおから出る生ごみは10キログラム程度ということで、これを肥料にさせていただいているということです。

その後、再度、農家の井上さんのほうから、いろいろ使い方に疑問なり、実際に話を聞いてみたいということがありましたので、3月2日に東京農大の周辺の農家へヒアリングにまいりました。ここでは4軒の農家のうち、岡庭さんという方と、直井さんという方の農家の方、ちょうど畑で作業しておりましたので、そこにお伺いしてお話をいろいろ聞いた。農大の指導でやっておりますということで、問題なくやっておりますけれども。岡庭さんは2年間やってみたということです。それから、直井さんも3年やっていると。岡庭さんのほうは、平米当たり800グラムやっておりますし、そのほかに、これだけではなくて、配合肥料といいますが、いろいろな肥料の成

分の加わったものを使って野菜を育てておる。直井さんのほうは、農大さんの「みどりくん」しか使わないということをやっています。そのできた生産物はどうかということで、ほかの肥料を使ったときとほとんど変わらないということで、問題なくやっているそうです。この直井さんのほうは、途中で追肥といいますか、これも全然やらないと、2月、3月ごろ、畑にまいて耕して、そして、作付をして収穫している。それだけだということで、もう3年も続いているようで、収穫量も落ちないということが行われているようです。3月と9月に、二毛作というのですか、二期作というのですか、3月の夏野菜、それから、9月にまく冬野菜、これをやっているということでもあります。

岡庭さんのところはトマトとかキュウリをやっているのですが、トマトなんかは7月ごろから出るのでしょうか。そして、8月、9月ととれるわけですがけれども、後半の8月とかには少し収穫量は減ったということでもあります。問題なく使っておるということです。

東京農大のヒアリングの後、じゅんかんチャレンジフォーラムというのを真ん中に書いてあります、これへ参加をいたしました。じゅんかんチャレンジフォーラムというのは、ここは経堂にありますので、桜丘町会、東京農大があるところですが、この町会の町会長さんが呼びかけをして、家庭での生ごみを乾燥させて、「みどりくん」に農大でやっていただいているということで、その地域全体で循環型社会をつくろうということでやっておりまして、じゅんかんチャレンジ桜丘推進協議会ということやっておりまして、3年目を迎えたということ。私どもにもかなり参考になるなと。町会との関係はどうなっていますかというお話を聞きますと、大木会長なのですが、会長さんは町会長なのですがけれども、その方の呼びかけでできたということで、当日は大木会長は体調を崩して出られていなかったのですがけれども、副会長さんが町会と協力関係でやっておるということでもあります。しかも、桜新町というのが田園都市線か何かでありますよね。経堂は小田急ですがけれども、その間といいますか、農大があるわけで、桜新町とも近いんですね。1キロぐらい離れている。桜町商店街でも、商店の一角に電動の乾燥機を役所からの貸与といいますか、支給といいますか、そういうことを受けて、援助を受けながら、それを使って生ごみを乾燥させている。それを農大に持っていくという形で、それでできた農作物をいろいろなイベントのときに使うということで、かなり進んでいるようです。そういう意味では、私ども、生ごみの循環ということでは、参考になったということです。

以上、今までの取組の経過ですがけれども、まとめますと、レストランあさおを使って、井上さんの農家でその肥料を使ってサイクルができたというのが1つです。2つ目は、もう1つ考えているのは、先ほど区長も話しておりましたけれども、山崎委員が代表をされているあさおいきごみ隊、これは生ごみを堆肥化しているわけですね。

それがあつ有志でボランティア的にやられている。これを何とか、ある町会、あるいは農家等連携をしながら、できないものだろうかということで、今その計画を練っておるところです。

以上、今の取組状況をご報告させていただきました。

西谷委員長 ありがとうございます。環境部会を代表して伊藤委員から、環境部会の検討経過についてご報告をいただきました。環境部会のほうは実際に生ごみについてのリサイクル、地産地消という形で循環型ということを取り組んでおられる経過についてお話しいただきましたが、私も農大にも2度ほど伺いましたし、それから、農家の方々の話も聞いたり、井上さんのところにも行きましたし、いろいろなところで見ましたが、生ごみのリサイクルについては、まだまだ考えていく必要があるかなと思っています。今、環境局で、レストランあさおの生ごみ、それから、小学校の給食の生ごみを農大のほうに運んでいただいているのですが、もう農大のほうはこれで目いっぱいだと思います。これ以上できないということなので、例えば私たちの家庭で出される生ごみまで処理するということは不可能なのですね。そうすると、今、伊藤さんがおっしゃった生ごみの堆肥化ということでも、これは場所が必要なので、そんな大規模にはできないという問題があるかと思ひます。ここに参与の先生方もいらっしゃるので、この辺がちょっと問題として、今後麻生区でも考えていただけたらいいと思っています。特に王禅寺の焼却炉が新しくなるので、そういうところで、例えば農大の井上先生のなさっているプラントを建てると、そうすると、もっと循環型になってくるかなということも頭に入れながら、私たちが今できることは何かということで、区民会議としては現在できることを取り組んでいるといった経過です。これについて少しご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

山崎委員 実は天野委員が自分のところで、ダンボールで堆肥化をしているので、その辺のことをちょっと。

西谷委員長 天野委員の実践されているダンボールコンポストですね、これについて。

天野委員 環境を考へ行動する会というのが1年半前に発足しまして、半年前にダンボールコンポストに出会って実践をしています。それを区民会議で正面切って質問していただけるなんて、何て光栄かしらと思ひながらお答えします。半年間模索して、マンションでも、屋根さえあればベランダで自分の生ごみを、4人家族だったら1日500グラムから1キロくらい出るので、3カ月で50キロくらい出るかな、その50~60キロの生ごみが1つのダンボールの中で消えていきます。ピートモスはこけの一種なのです。園芸用品で、今、ブルーベリー栽培なんかによく使われているのですけれども、そのピートモス15リットルと、もみがらを炭にした「もみがらくん炭」、これは消臭効果もあるし、形が丸いので、微生物がすみやすいというところで、それを10リットル、合計25リットル、約3キロくらいですか、ダンボールの7分目が8分目まで入れ

て、そこに毎日毎日、生ごみをただ入れるだけで、1日に5分はかからないですね、2～3分かき回すだけで3カ月間の生ごみが全部なくなってしまいます。すぐに庭に使えるわけではなくて、昨日入れたミカンなり、昨日入れた生ごみが堆肥になるまで1カ月ぐらいいは、1週間に1回かき回して寝かせるのですけれども、その1カ月間だけは新しい生ごみをもう1つのダンボール箱に入れるので、2つのダンボールを管理しなければいけないですけれども、そうすると、1カ月後にとても素敵な堆肥になって、庭で使ったり、畑で使ったりして、実際にその堆肥を使うのと使わないのと実験すると、使った場合とてもいいものができました。九州のほうでは10年も20年も前から実践していて、進めているのです。

あしたから始めるのに、ダンボールとピートモス園芸用品ですといっても、どんなものを買うのかしらと、どんな大きさのダンボールがいいかしらと迷われるので、スタートセットをつくってお分けして、半年前に始めて、今、私たちの周りに、実践者が120名になりました。まだ堆肥までこぎ着けている人はもちろん120名いないのですけれども。自治会では、多摩の大作自治会の環境衛生部というところで呼んでくださって、自治会は、お金があるので、10個買い上げて、皆さんにお分けして、自治会で取り組みたいというお話がありました。そして10個では先着10名になってしまったので、講習会を聞きに来てくださった方に10個お分けしたのですけれども、追加で欲しいということで、今年度申し込んだ人は全部自治会が幾つであっても面倒を見るということでした。あと、百合ヶ丘勸交会というところで、今度の23日に講習会をするのですけれども、そこは全然補助はしない。「1600円かかった原価はそのまま本人に払ってもらっても、町会としてバックアップする」なんていう広がりを見せています。

いきごみ隊がやっていらっしゃるEM菌で1次発酵させて、それを密閉バケツで1次発酵させるやり方とか、それから、「みどりくん」のように肥料をつくるやり方とか、いろいろなやり方があるので、私は区民会議とか行政の現状を考えたときに、何をしたら区民がかかわれるだろうかと思ったときに、ふと思ったことなのですけれども、コンクールをしていただけないかと。皆さん、自分の生ごみで素敵な堆肥をつくって、花でも野菜でも何でもいから、その出来をコンクールしませんか。出来がいい悪いもワンポイントですけれども、その間に何キロ減量できたのか。いろいろな観点があると思うのですね。何キロ減量できたというのと、あと、上手に草花ができたという、どこをどうするかはまだ全然思い立ただけなので考えていないのですけれども、いろいろなやり方があると思うのです。

ダンボールの場合、3カ月プラス1カ月寝かして、4カ月で堆肥になるので、それを実験すると結果としては5カ月ぐらいいのスパんでエントリーしてから結果が出ると思うのです。ですから、来年の区民会議の最後ぐらいいにコンクールをすると呼びかけ

て、エントリーから、途中でちょっと情報を寄せてくださいとかと言って、写真でも、こんなふうに毎日、子どもと一緒にかき回していますとか、今でも120名の実践者から、日々、何て素敵なことでしょう、毎日、ごみ捨てが軽くなりましたとか、いろいろなものを寄せていただけているので、「こんな実験をしています」、「今、耕していますよ」、「これから種をまきます」みたいな中間情報も寄せてもらいながら、長いスパンでのコンクールをしていただけたら。

もう1点は、ホームページに区民会議の要約を載せてほしいというのがこの間の出前フォーラムで出たのですが、今の若者とか今の人たちは、回覧が回ってきて読むというよりは、自分の欲しいときに情報をとるような気がするので、ホームページをぜひ充実させていただきたいのですが、その一環にもなるかなと。コンクールをやるよとか、中間情報を載せるとか、ちょっと楽しいようなことをしたら、みんな区民を巻き込んで、団体エントリーと個人エントリーとあって、個人でダンボールをやる人もいるし、団体でいきごみ隊のようにやったり、あといろいろなところで、団体登録もありの、そんな構想もあるのですが。

神本委員 今の意見に追加するんですか、私もダンボールコンポストを始めまして3カ月たちました。おととい、天野さんに来ていただいて、2箱目をつくり始めたところなのですが、うちは4人家族なものですから、子どもがいて5人ですから、毎日500グラムずつ生ごみが出ます。それが毎日きれいにその中に入って行くわけですね。そして、1日おきか毎日かきまぜていますけれども、すごく楽しみにしながらやっています。とてもいい方法ではないかと思しますので、賛成します。

西谷委員長 今、天野委員と神本委員のほうから、ダンボールコンポストについての話が出ましたけれども、やっぱり生ごみを処理するといろいろな形があると思います。その人の生活パターンに合った方法というのが、皆様に知らせることができると、環境ということを考えるエコ活動になっていく。生ごみをごみとして出すか出さないかというのは、焼却炉に対する問題も出てきますし、それから、うまくそれが再利用、循環できるということが非常にメリットだと思います。私もできるところやっていますけれども、そういうことを少し進めていくということで、環境部会のほうでももう少し検討していただいて、今のコンクールも含めて、区民の皆さんにどういう形でPRしていくか、それから、環境との関連を皆さんに関心を持っていただくかということをやっていたらと思っておりますが、そのほか何かご意見はございますでしょうか。 よろしいですか。

それでは、今の問題も含めまして、環境部会ではいろいろ検討をいただくことになっておりますが、ただいまご報告いただきました伊藤委員からの環境部会の検討経過報告及び提案についてご承認いただけますでしょうか。

〔 拍手 〕

西谷委員長 ありがとうございました。それでは、今後また伊藤部会長を中心にして、環境部会で練っていただければと思っています。よろしくお願いします。

3 報告

平成20年度及び平成21年度麻生区協働推進事業について

西谷委員長 それでは、3の報告、平成20年度及び平成21年度麻生区協働推進事業についてに移りたいと思います。

それでは、この件については事務局からご報告をお願いします。

(事務局から報告)

西谷委員長 21年度の麻生区協働推進事業ですが、これにつきまして、ご意見とかご質問はございませんでしょうか。 それでは、ご質問がないようでしたら、次に移りたいと思います。

4 その他

(1) 第5回区民会議の開催日程について

西谷委員長 それでは、4のその他に移りたいと思います。(1) 第5回区民会議の開催日程について、企画部会からご説明をお願いします。

神本委員 それでは、第5回区民会議の開催日程について、企画部会から提案いたします。

次回、第5回区民会議の開催日程については、5月29日(金曜日)午後3時、区役所4階第1会議室を予定したいと思いますですが、皆さんよろしいでしょうか。よろしくお願いたします。

西谷委員長 第5回区民会議の日程ですが、5月29日(金曜日)の午後3時からということで、よろしいですか。企画部会のほうから日程の提案です。よろしいようでしたら、この日に決定したいと思います。異議ありませんね。

(2) 7区区民会議交流会について

西谷委員長 それでは、次に移りたいと思います。次に、(2) 7区区民会議交流会について事務局からご説明をお願いします。

事務局 資料5をごらんいただきたいと思います。7区区民会議交流会を開催します。目的としては、各区の区民会議委員同士の情報交換とか意見交換の機会を設けまして、お互いの運営方法を学ぶとともに、委員同士の横のつながりをつくるきっかけづくりとすることを目的として開催します。

日にちとしましては、5月20日（水曜日）になります。時間は15時から17時、終了後に懇親会を予定しております。場所につきましては、中原区役所の会議室になります。参加者なのですけれども、各区区民会議委員3名程度となっております。3名程度ですので、正副委員長または委員という形になっております。事務局としましては、総合企画局自治政策部が事務局になっております。

西谷委員長 ありがとうございます。この区民会議交流会の件ですが、昨年、7区の区民会議のシンポジウムがありました。このときにやはりお互いに交流をする必要があるのではないか、幾つかの区は交流会を持っていたのですが、第1期のときはそれがありませんでしたので、第2期では交流会をという意見があって、それが多分実現されたのだと思います。それで、5月20日なのですが、どなたか、7区の交流会の参加希望の方がいらっしゃいましたら、お申し出いただきたいと思いますが、手を上げていただければ。特にないようでしたら、こちらで指名させていただいてよろしいですか。そうしましたら、これはいろいろな区との話し合いをするということで、できるだけ委員長は出ないといけないと思っておりますが、副委員長にも出席していただいて、それぞれの区との交流を、他の区の現状も聞いていただきたいと思っておりますので、副の神本委員と渡邊委員にお願いしたいと思っておりますが、それと私でよろしいでしょうか。

〔拍手〕

西谷委員長 それで決定させていただきます。

（3）あさお福祉計画推進会議の委員の推薦について

西谷委員長 それでは、次に（3）あさお福祉計画推進会議の委員の推薦について、事務局からご説明をお願いします。

事務局 資料6をごらんいただきたいと思っております。あさお福祉計画推進会議の委員の推薦の依頼がございました。区民会議から1名推薦してほしいそうです。任期としては、この4月から平成23年3月までの2年間ということだそうです。会議の回数としては、年に3回から4回程度開催するそうです。

西谷委員長 ありがとうございます。どなたかご推薦または立候補していただける方はございませんでしょうか。あさお福祉計画推進会議の委員ですね。福祉関係ではここでは矢野委員がいらっしゃるのですが、矢野委員は市のほうの委員となられるそうなので、ほかの方で福祉関係に造詣のある方と思っておりますが、ご推薦ありましたら。いかがですか。

伊藤委員 神本委員が社協をやられて、いろいろ造詣に深いと思っておりますので、神本さんをお願いしたいと。推薦します。

西谷委員長 今、神本委員にというご意見がありました、いかがですか。よろしいです

か。

〔 拍手 〕

西谷委員長 それでは、神本委員をあさお福祉計画推進会議の委員として区民会議から推薦したいと思えます。よろしくお願いたします。

それでは、何か今まで議事を進めてまいりましたが、審議検討を要する提案等が今まで漏れていること、または新たに提案したいことなどがありましたらいただきたいのですが、いかがですか。

菅原委員 きょう配られている「芸術のまちづくりと地域の活性化」シンポジウムは、日程もなければ、会場も書いていないし、これはどこでいつやるのですか。実は私たち、文化協会で急にいろいろなことを頼まれて、この会場の設定でてんやわんやして、やっと設定したというあれがあるのですが、たくさんの人に来ていただかなければいけないのだけれども、日にちも時間も場所も書いていないチラシが配られているのですか。

西谷委員長 まだ1つ抜けていました。もう1つここに資料があります。これらについても一緒に太田区長のほうからお話しただければと思っております。

区長 抜けているところから言いますと、このシンポジウムは3月26日の15時からアートセンターです。これは本当のことを言うと、寺川さんがいるとよかったです。まちづくりフォーラムでつくっていただきまして、うちのほう、ノーチェックでした。済みません。3月26日3時からアートセンターで行われますので、ぜひ来ていただくといいなど。昭和音大出身のJisongさんが歌を歌うミニコンサートをやります。

それから、もう1つ楽しい話で、「しんゆり・芸術のまち」を紹介するテレビ放映というのが、3月21日、「メレンゲの気持ち」という4チャンネルのお昼の番組なのですが、12時から13時30分、ここで、ホンジャマカの石ちゃんが新百合を歩いて紹介することになっています。これは前にお話ししたかと思いますが、芸術のまちづくりフォーラムでも、プラップジャパンというPR会社があるのですが、その矢島さんという社長が上麻生にお住まいで、新百合ヶ丘の町をどういふふうに売っていったらいいかということをしているお話を伺っていたのですね。テレビだとか、雑誌だとか、あるいは婦人誌なんかにどんどん売り込んだらどうかと。ちょっとお力をおかりしまして、こういった番組が放映されることになりましたので、ぜひごらんください。

それから、もう1つは、「散歩の達人」という雑誌がございます。これも3月21日発行日なのですが、時刻表とか「旅の手帖」なんかを出している交通新聞社さんが、これもまた4月号で、アートセンターだとか、昭和音大さんだとか、新百合ヶ丘近辺を紹介していただけるということになっています。両方とも、下のほうはお買い求めになっていただいてというふうになっています。

西谷委員長 ありがとうございます。

先ほどのシンポジウムのごことは私のほうに案内が来ていまして、参加ご希望の方は、言っていただければ私のほうでお返事を出すことができます。23日までに返事をするようになっております。

それから、この後の交流会のところは、会費3000円だったと思いました。アートセンターのほうでやります。これ、日にちが書いていないのを全然気がつきませんでした。申しわけありませんでした。

区長 このチラシ、事情がわかりました。これ、もともと両面印刷になっていましたんです。裏側の写真が余りよろしくない写真で、アートセンターがバリアフリーになっていないときの写真が入っていたそうなのです。片面だけ出したので、そうしたら日にちが抜けていたということで、本物のほうは日にちとか場所とか入っているそうです。

西谷委員長 いろいろと手違いがありまして申しわけありません。参加を希望される方は私のほうに後でシンポジウムのほうと交流会、シンポジウムは無料ですけれども、交流会のほうは有料なので、言っていただければ私のほうから区民会議として参加者を送ります。

神本委員 会費は幾らかわかりますか。

西谷委員長 2000円だそうです。

あと映画のことを。

事務局 映画については、この後の交流会のほうでDVDを用意していますので、そこで上映したいと思しますので、よろしくと願います。

西谷委員長 ここに、「未来を守れ不思議なメガネ」という、これ、川中島小学校の子どもたちがつくった映画なので、これは寺川委員からいろいろご説明いただけると思いますが、これは交流会のほうで上映させていただきたいと思っておりますので、よろしく願います。

これで議事はすべて終了なのですが、何か提案することとか、ご意見がありましたら。

守田委員 この間の出前フォーラムの3回目、はるひ野で、1期の区民会議の委員でいらっしゃる松本さんがご参加なさいまして、川崎市の都市型コミュニティ検討委員会ですか、そちらの委員になっていらっしゃるって、そろそろ中間報告を今まとめているような状況ですということで、せっかくですから、都市型コミュニティについて市のほうでそういう検討をなさって、ある程度のお話し合いがまとまっているとすれば、それを伺うちょうどいいチャンスだと思うので、例えば松本さんに来ていただいて、簡単なお報告をしていただくというのでもいいのではないかなというふうに思っております。大体こういうものは行政の方からご報告ということはあると思うのですが、せっかく委員さんで参加していらっしゃるの。ということをちょっと提案させていた

だきたいと思います。

西谷委員長 ありがとうございます。次回の区民会議あたりで検討させていただくことでよろしいですか。あと何かありますか。

伊藤委員 紹介をさせていただきます。環境部会の中にも、先ほど説明した案の中に、末吉竹二郎さんの講演会というのがありましたのですが、実は2月28日に区役所で、地球温暖化問題の太陽光発電所が区役所の屋上に建ちまして6周年になります。その記念講演会がありまして、区長からもごあいさつをいただいたのですが、76名の方が聴講されて、非常に大きな感動を呼んだということで、J-COMテレビが5月5日から10日の間にテレビ神奈川フォーラムですか、1時間ぐらいの番組だと思うのですが、ずっと講演の中身をテレビでやるというので、ぜひ見ていただければよろしいのではないかとということで、ちょっと追加でお話しさせていただきます。

西谷委員長 5月5日から10日の間のいつかはわからないのですね。わかり次第情報を流していただければと思います。

ほかございませんか。

それでは、最後になってしまいましたが、参与の方々からお話をいただきたいのですが。尾作参与、お願いします。

尾作参与 大変おくれてまいりまして、最初に意見と言われても大変恐縮なのですが、今、こちらにお邪魔いたしまして、先日開催されました区民会議の出前フォーラムの内容についてちょっと目を通させていただきまして、本当に皆さん熱心にご討議をされているということが十分に感じられたのですが、本当に区民会議のメンバーの皆さんも、1期目より2期目、2期目もちょうど1年経過をしてきて、地に足のついた活動に変わってきたという実感が非常にうかがえますので、今後ともしっかりと区民の課題は区民会議のほうで解決するという意気込みで今後とも頑張っていたきたいというふうに思います。

こちらのご意見の中で、まだまだ区民の皆さんに周知不足だという部分がうかがわれるご意見が結構あったものですから、我々もしっかりと機会あるごとに区民の皆さんに、こうした区民会議のあり方等々につきましても広報していきたいと思っておりますので、今後ともご指導のほうよろしく願いいたします。

西谷委員長 ありがとうございます。勝又参与、お願いします。

勝又参与 それぞれのところで行われた出前講座についてなのですが、この中で出てきている意見で、第1期でやられたものを第2期でも引き継いでという、私も高齢者部会で行われたアンケートに基づく調査というのは本当にすばらしいなというふうに思いましたので、ぜひ引き継いでいくものとして私もそのところは力を入れていただけたらなというふうに思いました。

それと、環境部会のほうで出されています資料3のところ、太陽光発電のことを

書かれているのですが、これはお話がされているかどうかと思うのですけれども、1キロワット当たり3万円で、上限が12万円というふうになっていたのですけれども、ことし、国が1キロワット当たり7万円補助するということで、1月から始まっていて、神奈川県も初めて3万5000円補助すると。川崎市も今まで3万円だったのを3万5000円にということで、全部合わせて1キロワット当たり14万円の補助で、3キロワットから3.5キロワットということで、40万円から50万円の補助というふうになるのですね。ですから、250万円ぐらいのものをつけて、50万円ぐらい補助がつくということで、来年度また電力の買い取りという制度も決まるようですので、そこら辺も皆さんに知らせていただけたらというふうに思います。

生ごみのところは私も関心があって、いつも自宅で生ごみを利用して、庭に返していけたらというふうにも思いながら聞いていますので、このところはこれからも関心を持って聞いていきたいなというふうに思っています。

西谷委員長 ありがとうございます。花輪参与、お願いします。

花輪参与 なかなかこの区民会議に欠席済みでございまして、大変に申しわけなく思っております。私のほうからは、ちょっと別の観点なのですが、今、議会の基本条例というのをプロジェクト、私どもも入っております、一生懸命、本当に市民の方々に望まれる議会にするにはどういうふうにするかということで、今、骨子案を作成しているところでございます。とにかく自治基本条例に基づく区民会議、また私どものほうの議会も、根本からそのあり方等もめぐりまして、しっかりやっというふうにございますので、その内容等を近日中にその骨子案が出てまいりますので、ぜひ皆様方のご意見等もいただきながら、よりよい議会にしていくということをご報告を申し上げたいと思います。

西谷委員長 ありがとうございます。山口参与、お願いします。

山口参与 皆さん、お疲れさまでした。麻生区の協働推進事業の中で、抱えていることでお伺いしたいこともあったのですけれども、地域づくりの手引というのが書かれてありました。そこはどういうふうに使われているのかとかということは次回にでも皆さんと共有させていただければと思いますけれども、今後そういったものとか、いろいろ共有していく必要があるものもあるかと思っておりますので、どうかよろしく申し上げます。

それから、段ボールコンポストの話なのですけれども、実は私もやっております、毎日、私も計測しながらやっているのですけれども、それが3カ月で120人になっているという、単純計算ですと、この3カ月で生ごみだけで1トン減ったのですね。というふうにすると、地産地消の最たるものなのです。そういったところからも、実際に足元からごみを減らしていくということ、区民1人1人が参加できるような形でやっていけるようなものをもっともっと実践できていくといいなと思っております。

ます。頑張っていたきたいと思います。

それから、7区の交流会で、他区でもいろいろなおもしろい活動をなさっているところがありますので、ぜひ今後役立てていけたらと思います。いろいろな情報をよろしくお願ひしたいと思います。

勝又参与 各区で行われた出前フォーラムのときに、参与の方の意見がなかなかないという事で、でも、麻生区は最後にこういうふうにお話をさせていただいているので、私はこれでいいのかなというふうに思っているのです。中に入るとちょっとしゃべり過ぎるところもありますので、最後に一言。ほかのところではなかなかそういう機会がないんですって。ですから、うらやましいというふうに言われました。その中でも議員と語る会をぜひというような意見もあったようですけれども、これも毎年、議員と語る会を開いていただいて、皆さんとお話ができるような形をつくっていただいているので、ほかのところに比べると麻生区は特に参加が多いということを知っていますので。ことしは5月26日6時から語る会というふうなことで連絡が来ておりますので、ぜひ予定を入れていただけたらというふうに思います。

西谷委員長 ありがとうございます。やはり区でもっているいろいろと違うようで、参与の方の発言がないと。うちは必ずしていただいているのにと思いました。

神本委員 勝又さん、語る会は21日じゃないですか。

西谷委員長 5月21日に議員と語る会があるようですので、できる方はご参加いただければと思います。

4 閉 会

西谷委員長 それでは、長時間にわたりましてご審議ありがとうございました。また議事の進行のご協力、ありがとうございました。

これで第4回麻生区区民会議を閉会させていただきます。この後、レストランあさおで交流会をいたしますので、ぜひご参加いただけたらと思います。ありがとうございました。

午後5時07分閉会